

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.520 ** 2015/11/06

=====

- +++++
- ◇平成28年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）
 - ◇共同主催国際会議の募集について（ご案内）（再掲）
 - ◇平成27年度共同主催国際会議「第5回世界工学会議」の開催について（再掲）
- +++++

■-----

平成28年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）

-----■

平成28年度代表派遣会議の推薦募集を開始致します。

日本学術会議では、世界の学界との連携、国際学術団体の運営への参画、学術に関する動向の把握、研究の連絡並びに情報の収集及び交換等を行うため、外国で開催される学術に関する国際会議等に学術会議の代表を派遣しています。

代表派遣の対象となる国際会議は、当会議が加入している国際学術団体が主催または共催する総会、理事会等を原則とされるようご留意願います。

日本学術会議の代表として参加すべき必要性の高い国際会議がございましたら、ご所属の委員会委員長または国際学術団体に対応する分科会委員長（以下「関係委員長」）

へご相談下さい。関係委員長の推薦が必要となります。

また、年々予算をめぐる状況が大変厳しくなっている事から、応募多数の際には、ご希望に添えない場合もございますので、予めご承知おき下さい。

【募集対象会議】

開催初日が平成28年4月1日～平成29年3月31日までの会議

【募集期間】

平成28年1月6日（水）〆切 [期限厳守・必着]

(※関係委員長からの提出の〆切日となります。)

【手続き】

申請手続きは、関係委員長からの推薦が必要となりますので、委員長までご相談下さい。

【過去の代表派遣会議】

<http://www.sci.go.jp/ja/int/haken/index.html>

【日本学術会議が加入している国際学術団体】

http://www.sci.go.jp/ja/int/link_kanyu.html

ご質問等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

<問い合わせ先>

日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）代表派遣担当

TEL：03-3403-5731

FAX：03-3403-1755

E-mail: kokusaidaihyohaken.group@cao.go.jp

■-----
共同主催国際会議の募集について（ご案内）（再掲）
-----■

日本学術会議では昭和28年度以降、国内の学術研究団体が国内で開催する国際会議のうち、「学問的意義が高く」、「科学的諸問題の解決を促進する」等、特に重要と

認められる国際会議について共同主催を行うことにより、学術研究団体への支援・協力を行っています。

この度、平成30（2018）年度に開催される国際会議を対象に、平成27年10月1日（木）～11月30日（月）まで共同主催の募集を行います。詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://www.sci.go.jp/ja/int/kaisai/entry.html>

※本件問い合わせ先：日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）付国際会議担当
（TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755 Mail：i254@sci.go.jp）

■-----
平成 27 年度共同主催国際会議「第 5 回世界工学会議」の開催について（再掲）
-----■

会 期：平成 27 年 11 月 29 日（日）～12 月 2 日（水）[4 日間]

場 所：国立京都国際会館（京都府京都市）

日本学術会議、公益社団法人日本工学会、世界工学団体連盟(WFEO)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)が共同主催する「第 5 回世界工学会議」が、11 月 29 日（日）より、国立京都国際会館で開催されます。

本国際会議では、『工学：イノベーションと社会』を統一テーマに取り上げ、主要テーマを 1：持続的な成長と社会の発展に向けたイノベーション、 2：イノベーション実現に向けた工学研究および開発、 3：社会のための工学の 3 つとして研究発表と討論が行なわれることになっております。日本が 21 世紀においても持続可能な発展を遂げる科学技術イノベーション立国であることを示すとともに、それを支える工学・技術力、並びに人材力を世界に示す貴重な機会となる予定です。

日本の産業界、学術界・教育界、行政ならびに市民の総力を挙げた取り組みにより、産業界と日本工学会を構成する工学系学協会とともに、「社会を支える工学」、そして

「社会イノベーションを創る工学」の実践例を世界に発信することの意義は非常に大きく、特に、ハード・ソフトシステムとサービスを含む高付加価値創造型ものづくりについては、産業界の総力を挙げた参加と貢献が期待されます。本会議には 80 カ国・地域から約 2,000 名の参加が見込まれています。

また当会議では、会議期間中に国内外の企業・大学等の技術展示会も開催いたします。

更に、工学の社会的意義について市民の方々の理解を深めていただくために、下記のイ

ベントも開催いたします。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただ

けますようお願いいたします。

京都プログラム

日 時：平成 27 年 11 月 29 日（日）13:30～16:30

会 場：京都商工会議所

エンジニアリング・カフェ

日 時：平成 27 年 11 月 30 日（月） 14:00～17:00

会 場：同志社大学今出川キャンパス

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<http://www.wecc2015.info/jp/index.html>)

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当

(Tel：03-3403-5731、Mail：i254@sci.go.jp)

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@sci_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/sci_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.sci.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34